

6523 15.4.1



(越崎宗一蔵)

# 阿難

棟方志功版画十大弟子の一

# 緑丘

全国版

(通巻)No. 31号  
(38年度 1号)

大阪市北区曾根崎新地  
日本電気機器株式会社内  
緑丘大阪支部

編集部  
大阪市東区道修町三の一  
塩野義製菓株式会社内  
幕目英三

木造建築の母校々舎も五十三年を経過し、外観はペンキの塗替え等にて昔の儘の姿で変り、無いが耐用年数の超過と共に処々損傷も出来、また火災等の危険も考慮されて改築が決定された由である。三ヶ年位の継続事業であるから完成迄には年月もかゝるが、鉄筋コンクリート建にて偉容出来上った暁は面目が一新される事と思う。

## 母校々舎の改築と共に

## 教科目にも新機軸

理事長 佐々木周一

れ、学生々活にも倶楽部活動その他に裨益する事が多大となる。(昭和三十八年四月五日付、北海道新聞「七億円で校舎改築」の五頁記事参照されし)。

以上は外観上の変革であるが、内容的に見ると既にラングーシセンターの設備が完備せられ、語学教育に一新面が開かれている。近く電子計算機が設備せられることになり、管理科学の分野において、大きな飛躍が予期される。

本校が開校当時より、学校の特色として多数の外人教師を招聘して語学に重点がおかれており、また学校に石鹼工場を設置して、商業学校であるのに応用化学、機械工学等の講義があり、工業方面の研習に特に意をそゝがれていたのであるが、これは確かに、その当時渡辺龍聖校長の非凡な構想であったわけである。

五一年の歳月を経て本校が語学の特色に変わりはなく、電子計算機に拠る管理科学の分野への進出は伝統を生かして、その進歩性を示すものとして意義深いものを感じる次第である。

緑丘会を中核体とする母校後援会が以上のごとく、母校の校舎改築並に教科目等内容の充実に一翼を担うことができた事は卒業生一同の大いに快哉を叫ばれることと信じ、母校が特色ある学校として今後更に大なる発展を祈って止まない次第である。

(昭和三八一四一二九)



世界のビール三大名産地

München ←→ 札幌 ←→ Milwaukee

(ミュンヘン) (サッポロ) (ミルウォーキー)



本場の味  
**サッポロ**  
日本麦酒株式会社

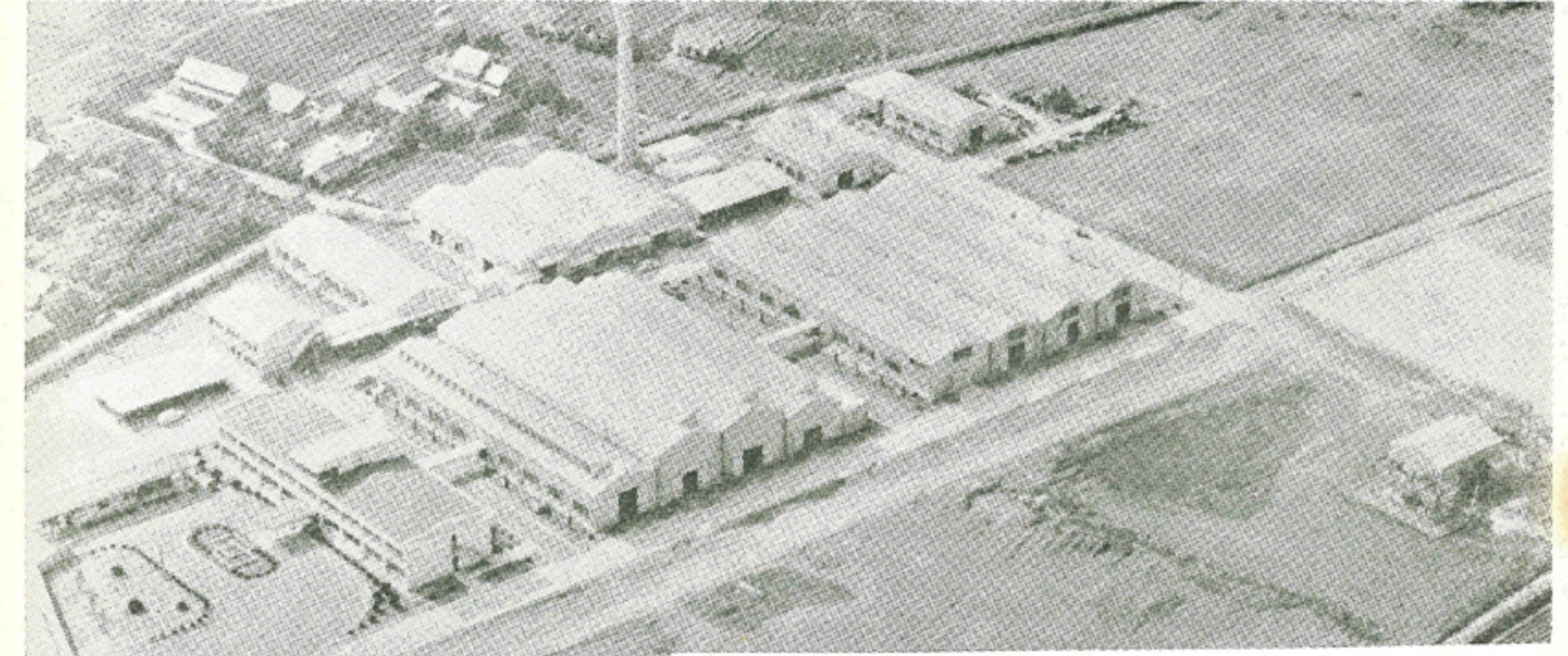
(姉妹品) リボンシトロン・リボンジュース・リボンコーラ



# 自動機械と自動制御機器

## の中京電機

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動機械           <ul style="list-style-type: none"> <li>管球製造自動機械</li> <li>半導体製造用自動機械</li> <li>自動包装機</li> <li>ストリップパッキングマシン</li> <li>粉末小袋包装機</li> <li>自動計量包装機</li> <li>固型物定量包装機</li> <li>カートニングマシン</li> <li>その他薬品食料品自動包装機</li> <li>産業用自動機械</li> <li>硝子加工用自動機械</li> <li>各種自動加工、組立機</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動機器           <ul style="list-style-type: none"> <li>セルシリンダー</li> <li>エアシリンダー</li> <li>エアパイプ</li> <li>エレットロパンチ・ステーク</li> <li>ロータリーインデックステーブル</li> <li>ターレットボール盤</li> <li>オイラー・フィルター、レギュレーター</li> <li>各種空気機器</li> <li>各種油圧機器</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 制御機器           <ul style="list-style-type: none"> <li>ソレノイド</li> <li>ソレノイドバルブ</li> <li>リレー</li> <li>電磁カウンター</li> </ul> </li> <li>○ 電子機器           <ul style="list-style-type: none"> <li>複写電送装置</li> <li>各種電子機器部品</li> </ul> </li> </ul>
--	--	---



**大阪営業所開設** 梅ヶ枝町電停北2筋目西入る  
新梅ヶ枝町ビル2階

4月25日より大阪営業所を開設、営業を致しておりますが、販売要員を募集致しておりますので御協力お願い致します。

大学、高校卒35才位までの販売経験者、又は機械、電気科の技術者で通勤可能の方を希望いたします。

詳細については本社・森本まで御照会下さい。

# CKD 中京電機株式会社

取締役社長 堀 部 定 勇 (昭12)

常務取締役 森 本 秀 勇

本社・工場 愛知県小牧市大字北外山字早崎3005番地 電話(小牧)3151代

東京営業所 東京都中央区銀座東6丁目7番地 木挽館ビル新館806号 電話(542)1346代

名古屋営業所 名古屋市中村区下広井町3丁目15番地 電話(5)8421代

大阪営業所 大阪市北区梅ヶ枝町108番地 新梅ヶ枝町ビル2階 電話(362)9051代

## 読者の声

### 小僧の心配

油 小 僧 (昭二)

一般に社会的評判の良い学校判定の条件は①良い教授②良い学生③良い卒業生の三者より成立するといわれている。

数年前中央公論であったか、文芸春秋であったか、つい失念して了ったが、東京丸の内一流会社に勤務する課長級以上の人々の出身学校調査を載せたことがある。それによると

「ビッグ、ファイブ」は①東大②一ツ橋③慶応④早稲田⑤京大の五校であり、これに次ぐのは、その数こそ激減するが、わが緑丘であった。実に愉快その物ではないか。緑丘の先輩よ、同窓生よ。これ等の真面目に奮闘努力の生活をして、かゝる立派な成果を勝ち得てくれた先輩諸兄に小僧は心からなる、お慶びを申し上げますと共に、これに感謝し、かつ誇りに思う。

何分緑丘卒業生の絶対数が他の大学の何十分の一、或はそれ以下なることを考へると、この喜びは一入であり、驚喜でさえある。

二、三年前、慶応の潮田学長が「地方大学卒業生の就職促進方法」

に關し、学校と卒業生との密接な連絡の必要欠くべからざるを説きこれが「エグザンプル」として緑丘の名を挙げて例証し、これにならえとまで賞められたことがある(大阪毎日掲載)

これは全く学校創立以来の諸先生の愛情の籠った忘我的に熱心な訓育懇切な教授の賜であり、よって醸し出された校友相互の深い友情と学校愛の表われでもある。

これも紙名を忘れて申訳けない次第だが、東大の元学長故矢内原教授が「好ましき大学」という意味の論文において、真に人格的教育を成し得る学校は、自然的環境が良く、学生の収容数少く、品性も学力も立派な教授と立派な卒業生を持ち、これ等有機的關係の深い大学であると主張され、内村鑑三や新島襄を生んだ米国のアーモスト大学を激賞され、暗に緑丘を指され、小僧思わず快哉を叫んだことがある。

近頃母校発展の構想を聞くに、伝統的に有名な語学力を更に強化するため「外国語センター」の設置「また今後の経済界進展に対応するため、経営管理に重点をおき、一億数千万円の巨費を投じて事務系の本邦国立大学として始めて電子計算機を購入し、地方大学としての特色を發揮せんとするよし、誠に心強い限りである。

母校学長始め諸先生の素晴らしい先見と構想に満腔の敬意を表し、これが完成の速かならんことを祈るものである。

唯ここにアイズル、ボーイの小僧

には若干の心配なきにしも非ずである。

噂によると、大学当局は前記管理経営を重視する必要上、学生の数理能力を重大視し「従来の如き語学は出来るが、数学の比較的弱い入学志望者は絶対に入学を許可しない方針であり、仮に入学し得ても絶対に卒業させない」という。

もし、これが真実なりとすれば、いわゆる「グループ、コンシクエンス」となりはしないか。

これは栄へある緑丘五十年の伝統の歴史を破るものではないか。

いうまでもなく、語学も数学も一様に出来るのは万人の望む所である。しかし、人間に得手、不得手のあることは残念ながら、その容貌の異なる如く明白の理である。

大学当局は余りにも自信に満ち溢れ、理想を追求する余り、或は自己陶醉に陥入り、緑丘志望者を入学許可者は総て「オール、ラウンド」の秀才を集めんとするかに見えるが、果して、その確信があるものであろうか。

歴史ある名門の緑丘とはいえ辺境の地にある緑丘において、例へば中央にある東大の如く、果して、これが可能であろうか。「ゾーレンで無くザイン山を直視せよ。しっかりと大地に足を奮張って現実を見よう。」

緑丘は過去において全面的に有能な学生を集め、特に比較的数学の弱い、商業学校出身の素晴らしい秀才共は雪の小樽に憧れて、全国の隅々から笈を担うて参集し真剣に勉強したのであり、今日吾等の誇りとする

緑丘出身の多数有名な学者や実業界を背負って立ち、社会的に貢献活躍している緑丘人の多くは皮肉にも比較的数学の弱い人が多いたのではあるまいか(先輩よ怒る勿れ)。

大学当局は猿が鵠の真似をする如く、中央の特定優秀な大学の真似をなし、或はこれを追抜かんとする余り、無鉄砲にも栄ある緑丘五十年の伝統を破らんとするか。果して、これが成功の確信ありや、如何?

数学進出重視の結果は理工科専門の大学を志望し、しかもこれにパスし得ない、或は得なかつた「二流三流学生」の集合所となる恐れ無きや。もし然りとすれば、かゝる素質の卒業生が吾等緑丘人の後輩として望ましき者であるか? 改めて述べらるまでもなく、緑丘はエンヂニヤ養成の大学でなく、ビジネスマン養成の大学である。工科大学でなく商科大学である。しかも本邦唯一の国立大学の。本末を誤ってはならない。

敢て大学の管理、経営学に干渉がましきことをいうのではないが、大学の教職にある多数先輩よ、言論界実業界の同窓諸兄よ、どうか諸兄の腹藏なき御高見を洩らして頂き度い。よって以て大学当局への参考否反省を促しては如何か。

旧横浜高等工業創立時の校長鈴木達治氏は(同志社、アーモスト大学出身)は、あの軍部華がなりし大正時代自由教育を主張し、官立学校として画期的な無試験を「モットー」とし学生各自の特技、能力開発に努力され、文部当局をして自己の方針



に屈服させ、一芸に秀でたバライ  
テイのある学生を入学させ、バラ  
イテイのある有能の多数卒業生を世  
に送り出し、現横浜国立工科大学の  
確固たる基礎を築かれたことは象知  
の通りである。

よって以って現緑丘の良き参考で  
はあるまいか。

万能「オール、ラウンド」が一番  
望ましい。もし難ければ語学の達人  
もよい。数学のスパ抜けた経営の達  
人もよい。単調「モナトナス」でな  
くバライテイのある有能の後輩を  
得て、従来の良き伝統を破らず、否  
之れを土台として愈々着実に前進し  
たいものである。

小僧の心配他意なし、ただ母校永  
遠の発展を祈るのみ。  
(一九六三、三、二〇)

Helvellyn やいづ山

佐藤 信雄  
(大一一)

昨日お送りいただいた「緑丘」  
(No.30)に西川正己氏(大一一)  
の一文があり(P.16) そのなかに  
Helvellynの山はどこか判らないと  
のことですが、手許の The Conci-  
se Universal Encyclopedia (昔の  
ものですが)により「Helvellyn」とい  
てあります。

Helvellyn, Mountain of the  
Lake District. It is on the  
borders of Cumberland and  
Westmore land overlooking  
Ullswater. Its height is 3,111  
Sft. そして、これも昔々の

Daily Express World Atlas  
を見ますと Northern Engl-  
and の部に出ております。  
御参考になればと思つて、この葉  
書を送ります。

(北海道滝川市緑町六一ノ七)  
三月三十一日付で滝川高校を退職  
しました。前記の所で余生を送りま  
す。

学位を取られた

黒羽 秀夫  
(昭二)

去る本紙新年号で相沢正己先輩の  
御健筆は私も嬉しく拝読した者の一  
人です。相沢さんは長らく御大病と  
のこと御察じしていましたが、御  
元氣に御成りになった事が判り、同  
氏御在阪当時格別の御厚情に預った  
私に取り、その嬉しさ懐しきは、ま  
た一入です。

其御健筆に対し本紙三〇号にて西  
川正己兄が一橋大の太平善悟兄の法  
博の見落しがあつた旨を指摘された  
ので、私も相沢さんには悪いけれど  
も、奥田勲先輩(大六、関西学院大  
教授)の商学博士を御報告する光栄  
を持ちます。この外にも私とDクラ  
スで一緒だった広島大教授の中野清  
一君(大一一)、京都大学教授の山  
本安次郎君(昭二)、正気寮で一緒  
だった一橋大教授の板垣与一君(昭  
四)または、他にも己に学位を取  
られたか亦は近い内に取られる校友  
が沢山あるのでは、ないでしよう

か。お互いに嬉しいこと、悲しいこ  
と(望ましくありませんが)はドシ  
ドシ紙上に報告して、これを分ち合  
いましょう。

大阪支部

相談部十年後

のビジョン

XYZ 生

昭和四十八年五月のある日、私は  
久しぶりに緑丘会大阪支部の事務所  
を訪れた。

事務所は三年前に大阪駅正面の  
グリーン・ヒルビルの八階に移った  
と聞いていたが、引越してから訪問  
したのは初めてであった。

正面玄関のエレベーターに乗って  
八階で下りたら、すぐ正面のドア  
の硝子に「緑丘会大阪支部」と「緑  
丘会相談部」と金文字で書いてあ  
る。

ドアを押してなかに入ると、可  
愛らしい受付の子が愛想よく迎えて  
くれる。

五十坪程の室に約二十名程が忙し  
そうに事務をとっている。  
奥の方の真ん中の大きな机には  
懐かしいHさんがどつかと腰をおろし  
て電話に掛って居る。

Hさんには数年振りで御会いした  
が、ちっとも変わっていなかったが、  
老眼のロイド眼鏡をかけていた。  
電話が終って、Hさんは立ちあが

り「さあー御掛けなさい」と懐し  
そうに迎えてくれる。

私は久しく御無沙汰している挨拶  
をして早速本日来た用件を御願いま  
した。一通り御願ひして、私は履歴書  
を出した。そしたらHさんは

「そうですか早いものですな!! ア  
ナタも来年は停年ですか...御蔭様  
で緑丘相談部も大繁昌でしてね、Y  
君も忙しいなかを、週二度午後二時  
間づつ来て若いものを指導してもら  
って居るんですよ、同君の提案で数  
年前からアメリカの経営者アツセン  
会社方式をとり入れて、近代的に科  
学的にさばって居って、仲々好評な  
んですよ、現に同窓初めとし、相当  
な年配の経営者向の方々五十名程  
レジスターされて居って、既に立派  
なヒューマン・インベントリー(人  
間在庫表)が出来上っております  
よ。キミも申込んだらどうですか  
...」と申込用紙を渡してくれた。

「成程実際に詳細に記録することにな  
っている。

同窓の子の方々の縁談について  
はHさんは次のように語った。

「同窓の子の男女合わせて百名程  
レジスターされておられ、昨年は二十  
組まとまりました。本年はすべり出  
しが好調で、早や五組がきました。  
すべて双方、詳細に科学的に調査し  
て居るので話が早いのですよ。幸い  
今迄相談部がマトメタ縁談でややく  
しくなったのが一件もありません  
よ。」とのことである。

出版部については、以前貧弱であ  
った緑丘誌は、現在では月二回刊行  
されており、発行部数二万部を越し

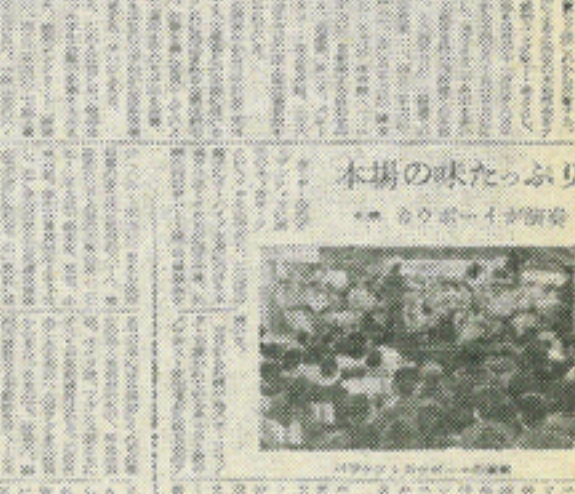
面目一新する小樽商大

校舎改築、学生会館の構想

…北海道新聞に発表さる…

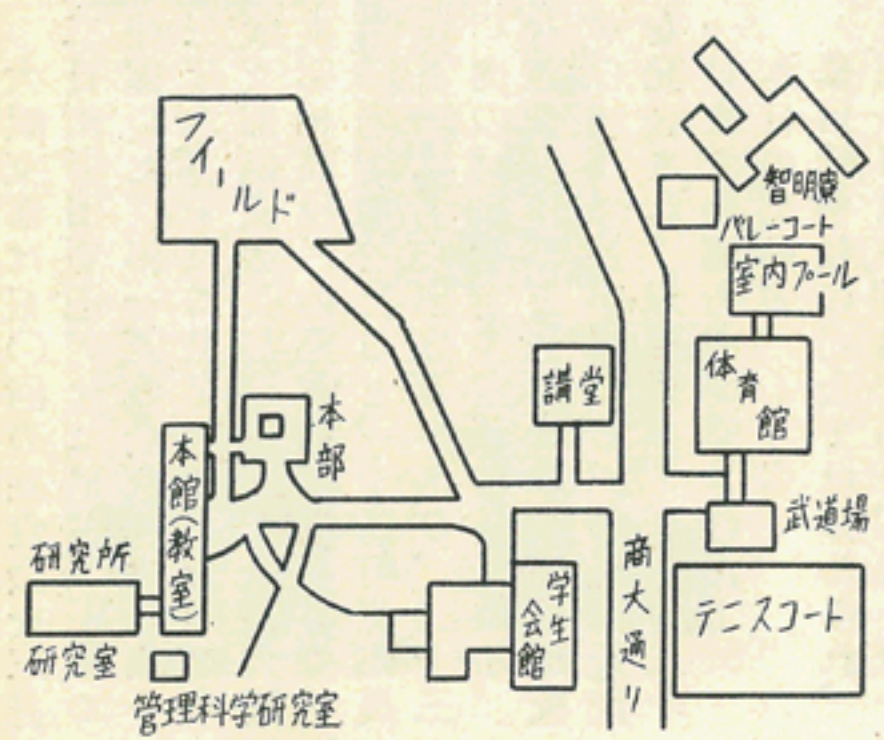
小樽商大(加茂)は、昨(長)年、全改築の構想を打ち出した。既に、大が、院を置く、この計画は三月二

七億円で校舎改築  
面目一新する小樽商大  
年内には学生会館を



十五日文部省  
の国立文教施  
設計画協議会  
で承認され、  
明後年以降に  
着手の見通し  
。これに先立  
つ学生会館の  
新設、戦後初  
の外人語学専  
任教師も本決  
まりした。

同窓は明治四十三年に建築されて  
から満五十三年間ほとんど改築され  
ず、すでに耐用年限に達したので加  
茂学長を中心に全面改築の青写真を  
作っていたもので、予算措置などは  
これから折衝する。計画によると現  
在の木造校舎をすべて鉄筋コンクリ  
ート造りとし、敷き地も現在の十一  
万八千八百平方メートルから十四万八千五  
百平方メートルにふやし、現在より二十教  
室も多い四十七教室を持つ四階建て



の本部(六、五六四平方メートル)三階建  
の教官研究室(二、四三二平方メートル)  
本部(一、五〇五平方メートル)講堂(八  
九一平方メートル)体育館(一、五〇五平方  
メートル)を新築するほか室内プール、武  
道場、テニス、バレーボールコート  
なども併設、三万六千三百平方メートル  
陸上競技場新設も考えられている。  
一応明後年から三年計画で実現す  
るよう文部省との交渉にはいるが、  
これに見込まれる金額は約七億円。  
改築を機に定員十人ていどの修士課  
程までの大学院も設置、学科も現在  
の三学科から国際問題に関連する一  
学科がふえる。

また、これとは別に長い間の念願  
だった学生会館の新築も本決まりし  
た。鉄筋コンクリート二階建て(一  
、四五二平方メートル)で総工費約四千五  
百万円。一階(七八八・七平方メートル)  
にはホール、小集會室四、食堂、理  
髪室、浴室など、二階(六七九・八平  
方メートル)にはステージ(六九・三平方  
メートル)をもち映写設備のある固定席四  
百八十人、補助席百三十人分の大集  
會室(二七七・一平方メートル)娯樂室、  
部室、小集會室、学生会事務室など  
を予定し、近く学内の学生会館運営  
協議会で正式に決める。旧一寮跡に  
建築し、着工は五月で、年内完成の  
予定。ほかに戦後初の英語担当外人  
専任教師一人も決まった。戦前まで  
同窓には各国語にそれぞれ専任の外  
人教師がいたが、戦後は英語、ドイ  
ツ語、フランス語とともに、すべて非  
常勤講師ばかり。このため、こんど  
英語一人のワークを文部省からもら  
う。防衛大、駒沢大講師など  
を動員したウオーレス・スミス氏を招  
くことになり、同氏は六日ごろ着任  
する。(北海道新聞から)

亡父の記事に感謝す

伴 素彦

いつも「緑丘」を御届け頂いて有  
難く御礼申し上げます。懐しく拝見し  
ていますが、いつ迄も亡父(房次  
郎)のことが記事に出して頂いてい  
て有難いことだと思っております。  
また書簡集についても非常な御努力  
を願っております。陰ながら感謝  
しております。

故 三上 茂(大一一)

未亡人 三上 ふみ

「緑丘」三〇号をお送り下さいまし  
てありがとうございます。三上茂は  
三十七年五月十四日故人となりまし  
たので三十七年度分の送金は如何な  
っておりますか、もしまだでしたら  
早速送ります。お伺いまで。



# 母校の近況を語る加茂学長

3月2日



大阪支部は五〇回の昼食会を三月二日に梅田新道アサヒビヤホールで開催した。第一回の会合は昭和三十三年六月十日に発足した。当時の大阪支部副支部長畑信太郎氏(現大阪支部相談役)の発案によるもので、当時の記録を見ると、十二町支部長以下十二名の出席者があり、三十三年度の行事予定が協議されている。さて本日の会合にははるばる母校から加茂学長が来阪し、母校の近況を発表され、母校募金(切七月三十一日までの協力を要望された。)

本日の出席者 十九名  
 墓目幹事長の司会ではじめられ、三月十日は日曜日であり、繰上げ十日会である事を発表、副支部長石田平八氏が日本麦酒株式会社取締役就任を披露する。有志で墓目画伯の「樽前山」六号油絵を贈呈する。(学長挨拶要旨)

「ランゲージラボラトリー」の近況」文部省の方針で母校に「管理科学科」を設置することに決定したこと北海道開発五ヶ年計画で北大に電子計算機が一台入ったが、母校に入る大型電子計算機は誤差がほとんどなく速度も、いままで以上にスピーディーになる。

経済学も数学を結びつけて数理経済学にも力を入れよう、従って数学の時間も増え、自ら数学の素質のある能力の見透のある人物を入学試験でも合格させるような結果になる。即ちいままでと異った学生の体質改善にすゝむであろう。

学生会館のない全国の大学は六十五校ある。そのうちで第一候補に入られて貰うように交渉して居った。予

算・会館会則・建築規則など学生とも協議し、文部省へ申請する運びに漕ぎつけたところ、此申請書を受理されるに至ったことは誠に喜ばしいことである。

教授、助教授、講師五十五人という様な陣容の我母校は全国にないのであって、学生一五人に先生一人という誠に恵まれた環境にある。早稲田大学を例にとると、先生一人に学生三〇〇人である。学生会館の坪数というのは先生の数と、学生の数と合せて最低の坪数より許可されないものである。学生も先生も、寒い自宅よりも学校の方が勉強、研究に良い環境であることが望ましいもので夜、明るい部屋で勉強してほしいものである。

明治四十三年の建築になる母校校舎は木口狂いなく、壁の間に紙を入れても入らぬという全く立派な建造物である。しかし、冬は朝七時に火を入れても暖まるのが十時、天井から冷えて行つて、午後三時には学生は寒さにふるえてオーバーを着て講義を聞いている。誠にあはれな状況である。石炭の熱量のロスも巧で明治時代にしては通風、彩光誠に申し分ないものである。先生の研究室にいても、現在仕切りをして使用しているが、監房の観がなくて、諸先生には気の毒でならぬ、全く以て田舎の学校であり、先生が学校で研究を続けて行く事はとても無理である。

文部省には二〇〇億の文教予算があり、一〇ヶ年計画で、一〇校建築する予定となっているが、もしこの選に入らぬということであれば、あと一〇年間新校舎建設は延長される

のであって、幸にして、今回文部省からの呼出しがあつて母校の未来図を提出し、二五〇坪から三四〇坪で認めて貰つた。

維持費は文部省が認めてくれぬので一千万円募金の中から運営費として予算に組んだ。古い校舎は、そのまま残すつもりである。

新入学生は一八〇人であるが立派な学生を社会に配出することに全校挙げて努力をしている。

募金の切も七月を以て終るが、目標一億五千万円に對して一億四千万円の決定を見たので、関西の各支部もあと一息であるので御協力を切望する。

募金が終了した後のことについては、どうしたらよいかを研究協議しているが、皆さんも御研究願ひ度い名古屋高商は名古屋大学になってるので、同窓会は別に名古屋高商同窓会として大学とは別個に結成しているが、幸にして小樽は一本であることが何よりも強味である。

この強力な態勢を、この機会にさらに強めて行かれる事を希望する。」

推名元教授から

小樽発展の基礎として小樽商大のために、さらに加茂学長の御尽力を御願ひし度いと、加茂学長へ感謝の念をこめて挨拶された。

出席者 加茂学長、推名元教授、松浦文太郎(大七)、杉山昌作、宮地邦介(大一一)、田中弥三郎(大一一)、香川清夫(大一一)、畑信太郎(大一一)、天野雅司(大一一)、石田平八、黒羽秀夫(昭二)、滝沢中、樋山三郎(昭三)、玉井英雄(昭四)、安在七郎(昭三)、三浦儀三郎(昭五)、墓目英三(昭一)、若山永太郎(昭一三)、青木慎吾(昭二二)(若山記)

# 巻頭を飾る相沢正美氏の追想

## 写真に添えて

### 緑士会卒業集 四十周年記念文庫

## 回顧

一九六二

回顧を手にしてその出来栄にいささか自己満足な味はつたのも束の間、重大なミステークに気付いた。折角諸先生方の玉稿を頂きながら御写真を頂かなかつたことである。この貴重な玉稿に加へて先生方の御近影を併載できたなら錦上更らに花を添えたであろうにと、いたく悔まれた。そこで遅滞きながら改めて諸先生の御近影の御惠贈をお願いした。再三のうろさいお願いを快よく御承諾下さつ



て先生方から、それぞれ御近影を頂く事ができ、ここに印刷する運びとなった。この一葉はもとも記念誌回顧の巻頭を飾るべきものであったので、これを手にした諸君は必ず回顧の巻頭に挿入して玉稿と併せて読んでいただきたい。

春風秋雨四十余年。当時の若かりし先生方も老令に達せられた事は止むを得ぬとして、しかしそのいづこかに、われらが学びし当時の面影を偲ぶに十分のものがあつた、なほ頗るお元気の様子があるのは誠に心強く、また有難いことである。願わくは今後ますます御健康にて、われらのうへに昔に変わらぬ教へを垂れさせ給うようお祈りしてやまない。忙中わざわざ私のふしつけなお願ひを容れて貴重な御近影をお送り下さつた五先生に對し深甚の謝意を捧げると共に、わが緑丘会員のみのが、この恩恵に浴することを同諸君は銘記せられたい。これで編集者としての私の責めは完全に果され、心おきなく先生方にも、同諸君にも顔向けで

きることを心からの喜びとする。時期のづれは、やはり病余の至せる業とお許しを乞う(真砂美)

さてここで諸先生の想出を一、二記して粗末な花束代りにとさし上げたい。

①中村先生 アメリカ仕立ての洋服をピッタリ身につけた長身の先生のスタイル、いまならさしづめ「カッコイイ」はひとり高商生のみならず広く小樽の町中の評判になったものだ。「エエソノナンジャ」という先生独自の口調も未だに耳の底に残っている。われ等が奉つた尊称(?)はそのものズバリで「ナカケン」けれど「コレポン」に似通つた所がミソか、ブレいの赤本と共に永く忘れられぬ先生である。

②大平先生 先生もアメリカ帰りのチャキチャキで、その流暢な英会話は生徒のドギモを抜くに十分なものがあつた。先生には三年間を通して英語を習つたが、一年の時の英作文の評語がTであつたり、Sであつたりして、何の意味かしばらく分り兼ねていた。ところが悪童の一人(野田友輔であつたと思う)がついに、これを解説(?)した。これは奥様のお名前MATSUというのでMが最高Uが最低だというのだ。そういえば私なぞMは一、二回より頂かなかつたようだ。

③推名先生 われわれの二年の時(大正九年)赴任された先生の合併教室における第一声。「わたしは恩師藤本先生(藤本幸太郎博士)から卒業(一橋専攻部)の時「早稲田と本校(高商)の二つの口を世話された。しかし頭の悪い早稲田の学生を

のであつて、幸にして、今回文部省からの呼出しがあつて母校の未来図を提出し、二五〇坪から三四〇坪で認めて貰つた。

維持費は文部省が認めてくれぬので一千万円募金の中から運営費として予算に組んだ。古い校舎は、そのまま残すつもりである。

新入学生は一八〇人であるが立派な学生を社会に配出することに全校挙げて努力をしている。

募金の切も七月を以て終るが、目標一億五千万円に對して一億四千万円の決定を見たので、関西の各支部もあと一息であるので御協力を切望する。

募金が終了した後のことについては、どうしたらよいかを研究協議しているが、皆さんも御研究願ひ度い名古屋高商は名古屋大学になってるので、同窓会は別に名古屋高商同窓会として大学とは別個に結成しているが、幸にして小樽は一本であることが何よりも強味である。

この強力な態勢を、この機会にさらに強めて行かれる事を希望する。」

推名元教授から

小樽発展の基礎として小樽商大のために、さらに加茂学長の御尽力を御願ひし度いと、加茂学長へ感謝の念をこめて挨拶された。

出席者 加茂学長、推名元教授、松浦文太郎(大七)、杉山昌作、宮地邦介(大一一)、田中弥三郎(大一一)、香川清夫(大一一)、畑信太郎(大一一)、天野雅司(大一一)、石田平八、黒羽秀夫(昭二)、滝沢中、樋山三郎(昭三)、玉井英雄(昭四)、安在七郎(昭三)、三浦儀三郎(昭五)、墓目英三(昭一)、若山永太郎(昭一三)、青木慎吾(昭二二)(若山記)

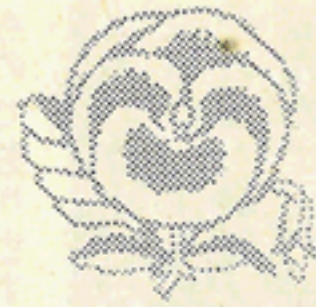
教へるよりはと本校を選んだ」との御挨拶で、頭のよい生徒にされたわれわれは、すっかり嬉しくなつて人氣百パーセント。舌をなめなめ講義される海上保険も頗る(先生の口くせ)興味深く就中「我國の海運は英米を除けば世界第一位」の名文句は一同の喝采を博したものだ。スポーツ万能の先生はよく塩野谷、中田、佐藤(忠)君等とランニング、スキー等を競い合つたものだ。留学の時間同窓会の壮行会を開き、その夜千代ヶ岱の私の下宿のせまい六畳間に泊つていただいた事を覚えていらつしやるかどうか。

④黒先生 新任の時、当時の教務課長であつた武田先生が「この方は年若いが学力は諸君を教へるには余りある優秀な方である」と悪童共に釘をさされた程であつた。むしろ武田先生の言はれる通り東京外語のフランス語を首席で出られた先生の学才はたちまち認められて大阪外語に引き抜かれ、ここでも数ある語学教師中一頭地を抜く存在となられた。先生のおかげで大阪外語に奉職する事になった私は前後十五年に涉つて公私両方面の御指導をいただいたが、私が最も先生に敬服したのはあれだけの力を持ちながら常々自ら稱してフランス語学者としては自分日本第二位である。一位はいくらもなく東京外語の恩師滝村先生である」と言はれた、その謙抑なお姿であつた。

⑤大熊先生 大正十年われわれが三年に進級した四月武田先生は「今度新しい先生が二人来られる。一人は福田博士の俊英で大熊君とい



# MEC



## MARUKA ENGINEERING CONSULTANT



### MEC 新発足のごあいさつ

昨今の経済の動き、国際情勢、さらにお得意先各位のご要望などを併せ考えてまいりますと、いかなる業界におきましても、その経営にあり現在もっとも必要とされますのは、イノベーション(innovation)であろうと存じます。

すなわち“技術革新”であり“経営効率・生産性の向上”であります。

そこでこのたび、微力ではありますが弊社の専門技術者に、外部からの優秀な技術者の参加を得まして、MEC(マルカ技術コンサルタント)と名付け、右記のメンバーによって発足いたしました。

MECは、みなさまの工場の“技術革新”に、また“生産向上”に、少しでもお役に立ちたいと念願して企画され結成されたものでございます。

わたくしどもの専門技術が、いささかなりともみなさまにご奉仕できれば、光栄と存じます。

機械の専門商社

## 丸嘉機械株式会社

本社 大阪市東区豊後町4-1  
TEL 大阪06代表0271-0279・1291  
6214・6385・5343  
東京支店 東京都中央区銀座東6丁目7  
(木挽館新館ビル)  
TEL 東京(54)2667~9  
名古屋出張所 名古屋市東区駿河町3丁目2  
(イースタンビル北館)  
TEL 名古屋(97)9684(直通)  
8561~5  
岡山出張所 岡山市中之町32(山陽ビル4階)  
TEL 岡山(4)0634

### MECの技術スタッフ

工作機械	切削研磨機	加納 光一	幸田 孝正
	専用機	岡田 安雄	酢谷城治郎
	プレス	織田 重稔	
精密機器	軸受	辻 信夫	吹谷 幸雄
	工具	牧野 正夫	
	機器	米山 栄吉	
	鋳造	栗原 幹雄	
建設機械	杭打杭拔機	泉 年明	
	道路路機	橋本 健治	
	掘削機	伊藤 幸昭	
	クレーン作業機	吉崎 三郎	幸谷 圭蔵
運搬荷役機械	電気車	丹羽 山治	
	フォークリフト	丹羽 山治	
	クレーン	杉田 清	中谷 寛
	コンペヤ	戸田 昭	江口辰三郎
化工機械	ボイラ	水森 繁夫	
	化工機	右田 芽郎	
	集塵装置	右田 芽郎	
産業機械	自動包装機	高橋 仁	
	自動制御機器	今井孝四郎	
	電子機器	久島 諒造	
	油圧装置	弦本 克己	加藤 錦吾
建築設備	空気調整	矢野 義雄	
	電気設備	山田伊之松	
	給排水設備	鈴木 為行	

もう一人は、左右田門下の逸才で宮崎君という、共に大西教授の後継者として恥じぬ立派な方である。この二人には原書講読をやって貰う予定だから君等(三年生)はそのいづれを選ぶかを前以て決めておき給え」という紹介があり、われわれの間には少なからず波紋を呼んだ。福田経済学か左右田哲学か、私も迷った一人だが、何しろその頃の左右田博士と言えは経済哲学の第一人者、しかも高商には始めての学問開拓とあって、ついに私は宮崎さんを選んでキヤナンのウエルズ講読という事になった。だから先生からは直接教えを受ける機会を失したが、たまたま大西先生の急逝によりブランクになった経済史の講義を引き受けられて、中世から近世への経済史を講ぜられる事になったので卒業前、僅かの期間ではあったが、先生の講義を拝聴する事ができた。正直言って先生は名にし負う大西さんの後とあって、講義がやりづらそうに見えた。その先生が後に同門同期の赤松要、宮田喜代蔵の両氏と共に経博の学位を取得されたのを思へば、われわれはやはり優れた先生に恵まれたものと痛感した。先生とは卒業以来一回留学から帰られた昭和四年大阪商大の椎名先生の研究室でお目にかすったきり絶えてお会いする機を得ないが、今年あたりはお目にかかれる機会を作りたいとひそかに念願している。

この篤学の先生にして若かりし頃は、秋の一日椎名さんと同道で私の下宿(花園町東三丁目)を訪ねられ路上で相撲を始められて下宿のお婆さんの目を丸くさせ「高商の先生でも相撲なんかとる事があるのか、と驚かせられる茶目っ氣を持合して居られた愉快な思い出がある。ちなみに先生と椎名さんは高商(一橋)は同期、専攻部では椎名さんが一年先輩という間柄である事もつけ加へる要がある。

### 緑丘通信

何分ずい分昔しの事なので記憶違いの事もなしとは言えずさような場合はお許し下さい。(真)

☆加茂学長は選ばれて北海道新聞「朝の食卓」に随筆を書く事となり第一回は「イヌが紙幣を拾った話」を五月一〇日に発表した。  
☆三井船舶社長進藤孝二氏(大一一四)輸出振興の功労者として「総理大臣賞」を受けられた。  
☆六月号文芸春秋「同級生の交歓」クラブページに大一一四伊藤整、森下弘、小川又治、進藤孝二の作家と社長連が仲よく語ってるほゝえましい風景が見える。  
緑丘を代表していたゞき有難い。大一一五が出て再び小樽の名を挙げてくれる事を望む。  
☆吉岡二郎氏(大一一二)五月九日白血病で急逝された。「緑丘」愛読者であったし大阪支部時代は何かにつけて御世話をいたゞいた方である。謹んで御冥福を祈る。  
東京都北多摩郡国分寺町二六八一 吉岡 康 男  
☆三〇号に「小唄の話」を紹介したが申込多く、残部なし。



日立商品特約店

## 日本電気機器株式会社

取締役社長 天野 雅 司 (大正15年)

本社 サクラバシ日立シヨーストール

大阪市北区曾根崎新地2丁目50番地

電話大阪(361)8871番(代表)

大阪(361)4602番(夜間専用)



### 緑丘余話

#### 金作り教室



昭和の卒業生にすゝめる  
八ヶタのサラリーへの道

#### サラリーマンのための 金作り教室

菅谷重平著 (大九)

ならない。執筆者の菅谷重平氏は大正九年の卒業生であつて、学生時代は模範学生、住友金属工業時代は模範重役、しかし金を貯めた話は一度も緑丘会で洩らした事のない御仁である。東京商大(現一橋大学)卒が大正十二年だから、もう四十年の社会経験であつて、先生の経験談秘話を御紹介に及んだのであるから、昭和の卒業生には一読を要する事必定である。

金だけあつて、施すことの知らぬ人は納棺時に平均されるものだと、ある先輩は私に教えてくれた。大いに働いて金作りをすゝめつつ、「緑丘」の繁栄のために御寄贈の勇氣のある人には一字も洩らさず拳々服膺される事をすゝめたい。

この本を読んで恥しかったのは、どの頁を明けても金・貯金・税金・ボーナス・株・金もうけと大きな活字が並んでいることである。電車のなかの読書が我々サラリーマンには読書のゴールデンアワーであるのに自分だけ読むつもりでおるのに、後の輩が肩越しに自分の本を読書するのが一つの流行で具合が悪い。勿論スポーツ新聞など買つて読まなくて

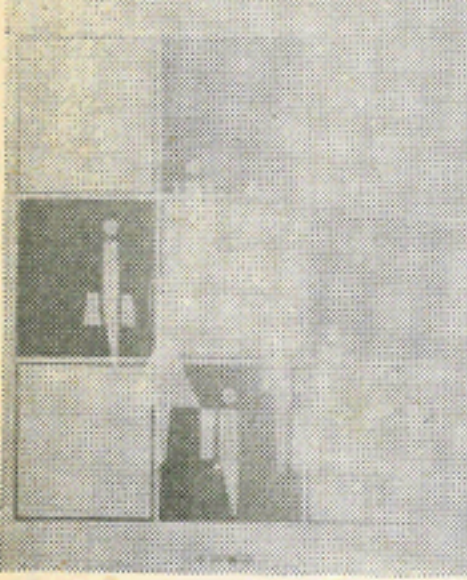
### 馬力の緑丘人 菅谷重平氏

#### 続いて出版「経営学は役に立つか」

菅谷重平氏は今年三十八年になつてから、前述「金作り教室」と「経営学は役に立つか」の二冊を発売された。僅か二ヶ月の中に二葉を発売されることは、なみ大いことではない。校正するだけでも一ヶ月はかかるものであつて、正に馬力の人といえるだろう。

この本の題は「病める日本経営と経営者の養生」という題にしようと思つたそうだが、日本人の国民性をよく握んで外国製の経営理論を日

#### 経営学は役に立つか



電車への持込みを中止した。このあわれな姿が金作りの出来ぬ宿命であろうか。  
もう一度くり返したい、昭和の卒業生よ、高商出は貧乏であつてはならぬ。必読をすゝめる。  
(池田書店発行定価三二〇円)

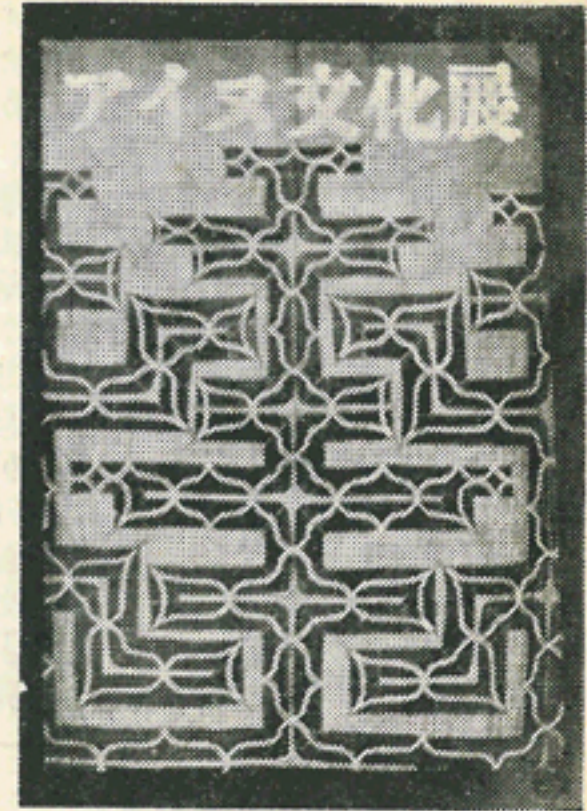
本の事業経営のうへに、どうすればよりよく生かせるかと日夜探求してある先生の著書であるから、内容がズバリ読者の胸を打つ。我々が日常新聞紙上で見る会社経営に関する記事の解説をしてくれる点が有難い。先生の著書は総じて六ヶ敷理論をやさしい言葉に代えて、気取らずサラリと流してくれるので助かる。  
内容は六章から成立ち、  
第一章 経営学の生い立ちと、新しい経営理論。  
第二章 経営学をどうとり入れていくか。  
第三章 ミドル・マネージメントの役割。  
第四章 近代経営の諸原則  
第五章 「会社」の意味と使命  
第六章 社風と愛社心  
我々ミドルマネーシメントにあるものには、やはり第三章、第四章が興味のある章で、極く当り前の「経営者の原則、計画の原則、組織の原則、管理の原則」を短的にまとめ、常識として身につけて置くべき項である。

この著書も若い緑丘人の一読をすゝめると共に家庭の御夫人にも推奨したい。  
(池田書店定価三八〇円)

### アイヌ文化展に出陳

#### 所蔵のアイヌ絵十三点

越崎宗一氏 (大一一)



会場には新井白石の蝦夷誌、近藤重蔵の辺要分界図考、松浦武四郎の東西蝦夷日記など貴重な文献ほかアイヌの生活と文化を紹介する珍品が出陳された。狩猟関係の弓、矢筒、小刀、山刀、仕掛弓矢、から漁撈の板綴船や魚鉤、鋸先まで、また餅べら、把手付の鉢や貞操帯なども珍らしい。  
特に会場で注目をひいたのは越崎宗一氏所蔵のアイヌ絵十三点であつた。熊おくり、ル・モツベ酋長コタンビル肖像の二点は特に赤・青等の色彩の鮮明さに驚かされた。  
蝦夷風俗図一卷  
魚釣の図、酋長の図、炊事の図、母と子の図、雪中出猟の図、水運びの図、乗馬の図、おどりの図  
(二点)熊おくりの図、アイヌとトリカブトの図等はいづれも越崎氏の出品であつた。

### 越崎宗一述 北前船往来

附 越崎商店沿革

越崎宗一氏は今回「北前船往来」と題する小冊子を発行された。同氏の解説によれば北前船とは上方と北国地方、更に北海道との荷物輸送に従事した一本柱の和船であつて、その大きさは帆の大きさをいい表わされたといふ。  
北前船の歴史から西蝦夷地漁場や

海岸、祝津燈台、船簞笥の事にも及んで、小樽発展の歴史の一端をうかがわせてくれる。  
同氏父君の事にも振れ、越崎商店の沿革を説く、私家版の小冊子ではあるが、我家の祖先の歴史を記録せんとする者には何よりの参考書であらう。

### 「原爆の子」らと共に

#### 歩みグループ

十三年

NHKテレビで中野清一氏 (大一一)

広島大学教授中野清一氏夫妻は十二・三年前から原爆の子らと共に「歩みグループ」を育成して今日に至っているが、N・H・Kでは二月十八日夜十一時から、これら孤児のたどつた道をテレビを通じて全国に放送した。この十二・三年間には就職の問題にしても、原爆の子なるがために、冷たい目で見られ、苦難の道を歩いた。中野夫妻は父となり、母となつて、その子らの就職にも奔走した。そのかいあつて、今では立派に夫々元気で働いている。ある子らは、すでに結婚もし、楽しい家庭を持つ事が出来た。  
これら子らの歩んだ「歩みグループ」をNHKは、「あすへの歩み特集」として取上げたのである。その好評に応じてNHKは再放送をし

### 「緑丘」三〇号

#### 「北海道新聞」

#### 学芸欄に紹介さる

四月十八日の北海道新聞は学芸欄の「ロータリー」に左のように紹介した。

同窓生の会、緑丘大阪支部発行の「緑丘」全国版三十号が出た。林子平の北海道地図を表紙に古瀬大六教授の「教育雑感」伊藤森右衛門助教授の「見透しとコントロール」など。活版B5判二十六ページ、と。

ロータリー  
○北大 ワン・マン・システム  
○千代田 千代田市立第一小学校  
○千代田 千代田市立第二小学校  
○千代田 千代田市立第三小学校  
○千代田 千代田市立第四小学校  
○千代田 千代田市立第五小学校  
○千代田 千代田市立第六小学校  
○千代田 千代田市立第七小学校  
○千代田 千代田市立第八小学校  
○千代田 千代田市立第九小学校  
○千代田 千代田市立第十小学校  
○千代田 千代田市立第十一小学校  
○千代田 千代田市立第十二小学校  
○千代田 千代田市立第十三小学校  
○千代田 千代田市立第十四小学校  
○千代田 千代田市立第十五小学校  
○千代田 千代田市立第十六小学校  
○千代田 千代田市立第十七小学校  
○千代田 千代田市立第十八小学校  
○千代田 千代田市立第十九小学校  
○千代田 千代田市立第二十小学校  
○千代田 千代田市立第二十一小学校  
○千代田 千代田市立第二十二小学校  
○千代田 千代田市立第二十三小学校  
○千代田 千代田市立第二十四小学校  
○千代田 千代田市立第二十五小学校  
○千代田 千代田市立第二十六小学校  
○千代田 千代田市立第二十七小学校  
○千代田 千代田市立第二十八小学校  
○千代田 千代田市立第二十九小学校  
○千代田 千代田市立第三十小学校  
○千代田 千代田市立第三十一小学校  
○千代田 千代田市立第三十二小学校  
○千代田 千代田市立第三十三小学校  
○千代田 千代田市立第三十四小学校  
○千代田 千代田市立第三十五小学校  
○千代田 千代田市立第三十六小学校  
○千代田 千代田市立第三十七小学校  
○千代田 千代田市立第三十八小学校  
○千代田 千代田市立第三十九小学校  
○千代田 千代田市立第四十小学校  
○千代田 千代田市立第四十一小学校  
○千代田 千代田市立第四十二小学校  
○千代田 千代田市立第四十三小学校  
○千代田 千代田市立第四十四小学校  
○千代田 千代田市立第四十五小学校  
○千代田 千代田市立第四十六小学校  
○千代田 千代田市立第四十七小学校  
○千代田 千代田市立第四十八小学校  
○千代田 千代田市立第四十九小学校  
○千代田 千代田市立第五十小学校  
○千代田 千代田市立第五十一小学校  
○千代田 千代田市立第五十二小学校  
○千代田 千代田市立第五十三小学校  
○千代田 千代田市立第五十四小学校  
○千代田 千代田市立第五十五小学校  
○千代田 千代田市立第五十六小学校  
○千代田 千代田市立第五十七小学校  
○千代田 千代田市立第五十八小学校  
○千代田 千代田市立第五十九小学校  
○千代田 千代田市立第六十小学校  
○千代田 千代田市立第六十一小学校  
○千代田 千代田市立第六十二小学校  
○千代田 千代田市立第六十三小学校  
○千代田 千代田市立第六十四小学校  
○千代田 千代田市立第六十五小学校  
○千代田 千代田市立第六十六小学校  
○千代田 千代田市立第六十七小学校  
○千代田 千代田市立第六十八小学校  
○千代田 千代田市立第六十九小学校  
○千代田 千代田市立第七十小学校  
○千代田 千代田市立第七十一小学校  
○千代田 千代田市立第七十二小学校  
○千代田 千代田市立第七十三小学校  
○千代田 千代田市立第七十四小学校  
○千代田 千代田市立第七十五小学校  
○千代田 千代田市立第七十六小学校  
○千代田 千代田市立第七十七小学校  
○千代田 千代田市立第七十八小学校  
○千代田 千代田市立第七十九小学校  
○千代田 千代田市立第八十小学校  
○千代田 千代田市立第八十一小学校  
○千代田 千代田市立第八十二小学校  
○千代田 千代田市立第八十三小学校  
○千代田 千代田市立第八十四小学校  
○千代田 千代田市立第八十五小学校  
○千代田 千代田市立第八十六小学校  
○千代田 千代田市立第八十七小学校  
○千代田 千代田市立第八十八小学校  
○千代田 千代田市立第八十九小学校  
○千代田 千代田市立第九十小学校  
○千代田 千代田市立第九十一小学校  
○千代田 千代田市立第九十二小学校  
○千代田 千代田市立第九十三小学校  
○千代田 千代田市立第九十四小学校  
○千代田 千代田市立第九十五小学校  
○千代田 千代田市立第九十六小学校  
○千代田 千代田市立第九十七小学校  
○千代田 千代田市立第九十八小学校  
○千代田 千代田市立第九十九小学校  
○千代田 千代田市立第一百小学校



# まんびつ五人集

まんびつ五人集

先輩・同輩・後輩

あらべすく

中野清一

(広島)

広島に移り住むようになって満四年が近い。小樽・新井・東京・横浜と職場を転々とした三十四年間の半ば近くを広島ですごしたことになる。それだけに、と書くと言いつくが、小樽との縁がとすれば薄くなりがちだった。

そのような「緑丘への親不孝」も甚だしい私をこれ以上の「地獄入り」から救ってくれた事情が幾つかある。もう十年近くも前のことになったが、増田常次郎君が日銀支店長で在任の頃、やはり同期の大平善悟君が広島を訪ねてくれた。同君が渡米前の寸暇をさいて、国連に立寄る時の用意にもと、来訪されたように思う。短時間の雑談ながら、その昔大正の終り頃の「緑丘」で、西野嘉一郎君(芝浦専務)がウイリアム・モーリスの、大平君がロスコー・パウンドの、私がハロルド・ラスキーの、それぞれ原書を競い合って読ん

だ頃の太田君のユニークさが、幾春秋かを飛び越えて蘇ってきた。その二、三年後には、西野君が国鉄経営の査察マンとして、広島に土を踏んでくれた。近藤徳弥君(朝日麦酒専務)を広島に訪ねた思い出が、まだ消えやらぬうちに、あれは確か四年前の八月初めの日、伊勢の西川正己君にもめぐり会えた。緑丘に在学した頃は、西野君を交えて三人、巡回講演に出かけた仲間だけに、その頃の思い出に、お互いに思いを走らせたことだが、大阪支部での天野雅司君や墓目英三君(昭十一)の活躍ぶりを西川君から聞かして貰った辺りから、私の「緑丘への親不孝」反省に灯がともり初めた。

この灯をいよいよ大きくしてくれたのが、一昨年、昨年と二年連続して来広された一期後の本合利八郎君であり、一昨年の山本安次郎君(昭二、京大教授当時)は滋賀大教授(昭二、野口正二郎君(昭十、合同酒精専務)、去年の早春から晩春にかけての渡辺光郎君(昭九、日銀券局長、当時)は岡山支店長)と本間誠一君(昭十一)たちの広島訪問・来宅だった。山本君とは小樽時代の軍教事件も話題に上つたし、渡辺君の来訪が大きな拍車になって、広島

の人である鈴木恵三君(昭九、広銀業務部長)、紀野重仁君(昭九、住友金属営業所長)などとの交誼が深まった。

丁度その頃、三井生命広島支社長として三十年ぶりの顔を岸要之助君(昭八)が見せてくれた頃には「緑丘会支部」をつくらねばと思うようになっていた。大友福夫君(昭十、専修大教授)との広島での二度の出会い、そのうち一度は寒さの中、私の学部で講義に来てもらったし、テレビに出るために二度上京した時、東京で大変な厄介をかけた終ったことを緑丘への想いをいよいよ手堅いものにしてくれた。去年の年末から帝人本社の人事部長になり、いまは外遊視察中の佐藤庄一君(昭十四)の、三原工場在勤中の厚情を忘れることができない。北条恒一君(昭十五)が、七、八年前、わざわざ東京まで引張り出してくれ、私のような者に講義の折を提供してくれたことも、広島にゆかりの深い同君の打明け話と共に念頭深く刻みつけられている。

それにもまして、今度からこそ「緑丘孝行」になろうという殊勝(?)な私の覚悟を不動のものにしてくれたのは、他ならぬ墓目君が、

## 次回

奥郡神諸飛  
村菊沢留塚

義信(大八)  
重助(大八)  
誠治(大八)  
誠一(昭一四)

その全エネルギーを投入している「緑丘」誌そのものなのである。怠け者の私に大野純一先生の御病気のことを告げてくれたのも同誌なら、その大野先生御自身の筆を通して、糸魚川先生が御郷里で現在病んでおられるという動静を伺い得たのも同誌の上のことだった。苦米地先生の御金婚のこと、また先生が参議院選立候補の時、札幌の同期生・中野喜一郎君が恩師に報いようとして懸命である消息に接したのも「緑丘」のお蔭である。まだある。天野雅司君が広島私の職場にまで友情の手をさしのべてくれたのも、小樽同期という縁由もさることながら「緑丘」誌がとりもつ点も少なくない。

商売(?)柄、私はマスコミさんに縁が深い。だから発言の資格があると言え、板垣与一君辺りから叱られそうだが、敢えて書くのを許してもらえらるなら、「緑丘」誌に比肩できるほどの貴重な役割を果している存在は、日本の印刷文化史上でも殆んど無いといつていいのではないか。その意味では、「緑丘」誌を通して「緑丘」につながるほどの緑丘人は、墓目君を京阪神に住む方々が大事に見守っている以上に、全国津々浦々から声援を送る義務があるよ

うに思う。

こう書いたのには深い訳がある。この二月下旬、東京からの帰途大阪に寄り、一番にシオノギに墓目君を訪ねた。よもやまの話が次々に出て中々席を立てなかつた。その中でも同君が、つましやかに面を伏せながら、最近視力が弱くなって、と打明けた時、私は胸が打たれるような思いがした。眼も耳も弱い私だから同病相憐れむ心境で、しみじみ聞いた点も無くはないが、それ以上に、同君の視力の衰えは、資料室長としてマイクロフィルムを覗く職務以外に、「緑丘」編集者としての職責で余暇すべてを投入しているゆえだ。と感ぜられてならなかつたのである。伴先生追憶集の出版のことで、予想以上に苦勞している現実を、同君の視力の弱体化につながってはいないだろうか。

この「まんびつパトロン」大先輩を指名申上げて恐縮ですが、大正四年組の奥村義信先生にお渡しします。緑丘人で満洲を訪れた方なら、必らず厄介になつている同先生、いまも国会図書館や最高裁図書館の余沢を蒙っている方なら忘れてはならぬ同先生、「緑の下力持」が本当は、この日本を支えている厳肅な現実の稀れにみる顕現である同先生、どうかこのパトロンを快く受けつけて下さい。

(大正五・広島大学政経学部長)

## たばこと私

谷本朋次

(大阪支部)

東京の日本ミンク毛皮販売株式会社社長増井得三君からのパトロン・タツチで再度筆をとることになりました。

私は昭和十年旧満洲国奉天に昭和煙草株式会社を設立し、奉天に本工場、哈爾濱に分工場を設け「大陸」とか「千山」という牌子一箱十本入りの紙捲煙草を主軸として、其他の雑牌取混ぜ年間二十億本ほど製造した経験があります。

専売制度下の日本では煙草の製造に染手する事は夢にも考へられませんでした。幸に満洲国であつたからです。それにしても、この事業は強力な統制下におかれてあつたので、新規認可は許されないので既存の弱小工場の実績を買収して、最初年間五億本位から着手して年々増して終戦頃には年産廿億本までに拡大致しました。

この事業は巨額の資力を要するのですが、幸に三井の財力と広瀬金蔵という三井家から表彰された唯一の事業家がおられたので、出来次第です。

私は現場の仕事を担当させられたので、会社の設立から工場の建設、現業員の採用、原料、材料の手当、捲煙草の製造、監督官庁との連絡等一切を切り廻して行くため、相当に

身体を酷使したので健康を害して、ヒドイ胃潰瘍をやり、そのため二回吐血し、生命保険会社からは契約の解消を申込み一方医者からはもう一度吐血すれば生命が危ないと宣告されました。その時お酒は勿論のこと、喫煙も厳禁されたのですが酒は止めることが出来ても、たばこだけはニコチン中毒に陥つていて、どうしても止める事が出来ませんでした。私の意志の弱いには自分でも呆れて物がいえません。全く食後や湯上りの直後の一服は正に千金の値がありますからネ。

丁度その頃古賀というお灸の名医がいて、曰く好きな酒を飲み、煙草もすいながら治療するのが本当の治療法です。あなたの胃潰瘍は私が責任持って治してあげましよう、有難い御宣託、早速両手両脚十二ヶ所と背中六ヶ所に約一ヶ年毎日々々根気よくお灸をすえて痛さ熱さの快感を味わいながら遂に、この難病を克服する事が出来ました。このお灸では随分家内にも苦勞をかけたものです。煙草製造に熱中している間に煙草に関する色々の文献を調べました。例へば、たばこはコロンブスが発見したこと、文明の程度と煙草の消費量は正比例すること、健康上には百害あつても一利ないことなど知る事が出来ました。しかし、判つちやいるけれども止められないのが私とたばこでした。

トロント大助教授G・キー博士がこのほど開かれたカナダ健康医学総会で

「心臓障害や動脈硬化にたばこはよくないが、五十歳までのみ続けた人はやめなくともよろしい。すでにトリコになりすぎていて無理に禁止すれば精神病院行きか、夫人をなぐり殺す発作を起しかねないからだ」と発表しております。私は六十四歳になりますので、キー博士からお許しを受けているわけでありすが、実はこれよりさき昨年十二月下旬、医師から動脈硬化に悪いから、此際思い切って禁煙しませんかと強く勧められ、旧臘二十四日以来、今日まで丁度百日間一本の煙草もすいません。血を吐いても止められなかつたのに、今回は動脈硬化予防という事実だけでピタリと止めて了いました不思議です。

胃腸の悪い方、食事の進まない方肥り度い方には禁煙の効果は全く観点です。私の体験から申し上げます、借物ではありません。最初一寸苦しんですけれども思い切つて踏切つて見て下さい。喜んで戴ける事を御引受け致します。

「身を苦しめ、精神を苦しめてやつた功德は自身で消せばしよう事が無いが、自然には万劫千生決して消えない」と私が尊敬する山本玄峯老師(九十七歳で昨年遷化された)の御言葉は鯛のように噛めば噛む程味が出てきます。

次は私と同期の愛知大学教授、大信紡績監査役郡菊之助君(名古屋瑞穂区村上町三ノ六)にお願い申し上げます。(大八、大阪市住吉区我孫子町二ノ二二)



### ゴルフをはじめ

杉山昌作

(大阪支部)

ゴルフは随分かねがねかかるものらしい。まず最初に道具を一揃。帽子とか靴とかまでとどのえると軽く五万円とられる。それからコースで遊ぶたびに、何だかんだで五千円は費える。別にゴルフクラブの入会金というものがあって、それがなんと三十万円から百万円にも及ぶ。入会金は権利みたいなもので、後日脱会の際は高く譲れるとしても、差向きそれだけのキャッシュを積まなければならぬ。

こんなにゴルフをやる人は、猫も杓子もといわれるほど多いが、そのなかでこんな多額の負担に堪え得るひとは数少ないはず。

そこでたいいてい会社では交際招待など営業上の必要ということで、入会金は会社の「出資金」とし、幾揃いかの道具を会社の「備品」として備付け、コースへ遊ぶときは「お客さん」を招いて往復には会社の自動車をつかい、グリーンフィーは勿論のこと、クラブハウスでの食事代から賞品代までも会社の支払にす。また自分の会社にこうした便宜がない人達は、「お客さん」になつて他所の会社の世話になる……といふような例も起るのかという次第。

### まんびつ五人集

それについても忘れられないのは金融界の大御所Y君が数年前のクラス会の際、いろいろ理屈はつけても要するに自分が好きでやるのだから、往復のクルマなども一切銀行の厄介にならずにやりたいが、そうすると、いまの自分にとっては金がかかり過ぎて手が出ない云々と、述べたことである。いかにもY君らしい言い草だが、いまもって同君は、それだけの理由からか、どうか知らないが、ゴルフに手を染めて、いな。くちさがな新聞記者連中からはY君の意固地とからかわれながら

わたくしも随分ながい間ゴルフには抵抗しつづけてきた。勧めてくれる友達には、その都度もっともらしい理屈を陳弁してきたが、要するにかねがね無い。かねがね惜しいからであつた。それがいろいろの事情で、かねの無いのは相変らずであるに拘らず、こんごゴルフをはじめめる仕儀と相成つた。珍妙なことである。

文字通り六十の手習いで、これから技を磨き、賞を獲ようなどといふそれた野心はもっていない。伸び伸びと愉しく遊んで、友達との誼を厚くし得れば幸である。それには自分の会社におんぶしたり、他所の会社「お客さん」になつたりすることを出来るかぎり慎んで、こころに重荷を背負はないようにしなくては、ひそかに思っている。

次は神沢重治君にお願いいたします。(大一一、日本製箔株式会社社長)

### 港に生きてます

秋葉 隆一郎

(苫小牧)

古き良き時代、毎日同じ箱の同じ座席が、確保出来た汽車に乗って、札幌から小樽へ通学した親友紫竹君からバトンを受けて、今更に身近く感じます。この前お目に掛つたのは八年前、新丸ビル前のすれ違ひでした。思出して頂けて恐縮でした。

君は貿易界に雄飛せんとして三井物産に入社、私は山に入らんとして三菱鉱業に入社したのですが、運命はアラの思召しに従つて港に配属され、忽ち外国船に行かされて、万国の異人さんに只一人商売に行つて、コレポンの見本に有つたようなB

Lに英語で書くとなつては、いさゝか心細かつたです。君と一緒に外国船を訪門したとき、サロンボーイがCoffee or Beerと云うのに、すかさずビールと答えて一杯頂きボーイの差出すカードに、堂々サインしたまでは傑作でしたが、君が是れ誰が払うのと聞くから馬脚を現わした。誰が払うか知るもんですか。いまでもつけは来ませんよ。

その後私は日本の北半分の港々を廻つておりましたが、アラの思召に従つて今度は港を作る方に廻されました。紙の王国苫小牧の砂浜を掘込んで、陸の中に一大工業港を作る

ろという訳です。港を利用する側とは違つて、港を作る。特に何んにも無い処に忽然と新しいのを作るなんていうことは、大変なことだと、つくづく思い知らされておりますが、幸いに諸事順調に進んで、四月二十五日川島開発庁長官がテープを切つて第一船入港、開港ということになりました。毎日々々物凄いな観察や見物のお客が参ります。日本中の偉方がおいでになります。小学生も奥方の一行も参ります。同窓の皆様もおいでになつて御覧下さい。雲に続く果てしない原野のなかに、最新の設備をした港が誕生してあります。これから中四〇米、水深一四米の工業港、水路を延ばして行く計画です。やがて一大工業地帯港が完成する予定です。土地は広く安く、水は豊富です。苫小牧の人口は猛烈な勢で増加しております。北海道の開発も、この港の完成で飛躍することでしょう。私は港を作るなんていう稀有の事業に参画して幸福だと思つております。

最新のニュースとしては一年後輩の宮本義勝君が道会議員に初陣の勝利を得て、この港に大いに力となつてくれることになりました。次は富山県から千葉県へ行かれた十一年の諸留誠君にお願いいたします。(昭一一、苫小牧開発株式会社 北海道事業所 総務部長)

### 緑 丘

### 過ぐるにまかせよ

三浦 正

(東京支部)

遅き日のつもりで遠き昔かな 緑丘のポプラと妙見川の柳に見送られて去つた小樽の街を再び訪れたのは昨年の遅春の頃であつた。

「幽鬼の街」には私の心を追憶に誘つてくれる風情が余りにも失われていた。ただ「この街」で「この丘」で育てられた友情と青春のよるこびへの郷愁がじんわりと心の肌を感じられた。

銀座の「夜の蝶」を筆頭に近頃の「女」がこわくなつたという珍話を前号でいみじく(?)も述べた畏友北条恒一君——その嫌人癖の貴兄からバトンを渡されようとは……

私は「うつし世は走馬灯のようなものさ……」と耳にしたことがある。緑丘を出てから廿余年になるが、その間我が職歴の変ることかくの如し……いわく、銀行員、予備役軍人、地方記者、市役所臨時雇員、海運乙仲業、鉱山会社員、小型商事会社員

——我ながら全くおどろきである。しかも、この四月の終りに、またぞろ職を交える仕儀と相成つたのである。「夜の蝶」でもこうまでバ

からバトンを渡すものであろうか? 「男子たるもの入社した以上一生そこに忠節を励むのが本筋であろうが……」との御批判を承るが「自我」とか「わがま……」とかで、かたづけ

られぬ運命のいたづらがあるものだ。

私は誰かが、こんな運命を経験した場合——決して望ましいことではないが——その人に私の小樽時代におそわつた言葉を伝えたい。

レツセ・フェール(なすにまかせよ。過ぐるにまかせよ。世界はひとりで行進する)

この気持が私を何時もなぐさめてくれる。

貿易の自由化を中心テーマとして日本の経済構造の変ぼうが考えられようが、これも大きな意味の「職変」かも知れない。私の従事している小企業は流通革命のはげしい速心力にぶん回され、吹き飛ばされそうである。

レツセ・フェール!! この渦中に創意と工夫をもって何とか対処してゆきたい。

こういふ決意で「夜の蝶」はまたぞろ小さい仕事にほこりを失わずに取組んでゆきましょう。では…… 春の暮家路に遠き人ばかり 次の名古屋精糖の飛塚誠一君にお願いします(昭一四)

### (ま) (ん) (び) (つ) (執) (筆) (者)

- (大三) 高橋徹男
- (大八) 八木康之助
- (大六) 伊東小四郎
- (大八) 戸井正三、大野純一、三好長次、増井得三、谷本明次
- (大九) 菅谷重平
- (一一) 宮地邦介、小橋庸三、杉山昌作

### 異動

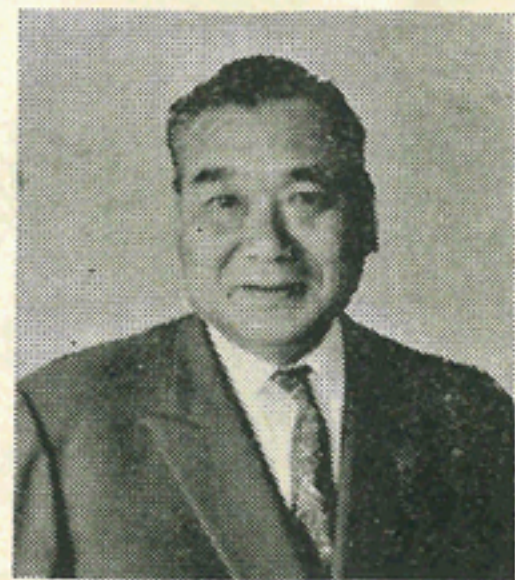
### 栄 転

- 松村克巳 (昭一七) 梶谷真一、長尾昌弘、桑野泰次郎、阿部敬作、越智直行、山田光男
- (昭二二) 牧口富伍、リトル・ラン ドナア、服部奎吾
- (昭二五) 北野巧
- (昭二九) 古内一成
- (昭三〇) 石津洋三
- (昭三一) 小田島和夫
- (昭三五) 佐藤良雄、本前勝支朗、長津行高、猪浦淳一
- (昭三六) 神田隆志
- 桜庭康次(昭七) 中京コカ・コーラ・ボトリング常務から日魯漁業生産管理部長に
- 八家 要(昭七) 神戸銀行総務部長委嘱を解く、常務取締役
- 三崎嘉郎(昭一一) 三和銀行堂島支店長から同行銀座支店長に
- 太田正勝(昭一四) 住友海上火災保険株式会社大阪支店総務部長に
- 橋井典雄(昭一二) 住友海上火災保険株式会社大阪支店総務部長代理に
- 角谷栄作(昭一一) 東京都墨田区東両国三丁目一一番地 株式会社 高義へ
- 藤田精二(昭一五) 住友海上火災保険第一官出張所長



緑丘人物譚

(2)



日本麦酒(株)取締役大阪支店長 石田平八氏 (昭二)

緑丘人物評は先般アンケートをいただきました折、数人の方から若い経済人(緑丘出身)を紹介せよとの声がありましたのでこの頁を設けました。御投稿を歓迎します。推薦人物と私の写真を御送り下さい。

豪快にして細心

石田さんは会社の後輩社員たちにいつも、まず健康を説き、勉強をすすめ、人間練習を強調している。これは氏自身の処世の信条でもあるのだらう。「ビールを売るのでなく人間を売るのだ、そのためには誠実であらねばならぬ。人を欺くよりは欺かれる方がよい。一度だまされたら二度はくりかえさない。しかし人をだますと一生の信用を失う」と若い販売係の人に説く氏の言葉には石田さんの信念と人間としてのスケールの大きさがそのままにじみ出ていると

石田さんは趣味も広い、若いころは謡曲もやった。山岳スキーもベテラン、釣りも好み、目下ゴルフに打ちこんでいる。日本麦酒(株)大阪支店長の同氏は、昭和二年卒業の大先輩であり、日頃より最も尊敬する先輩の一人である。同氏は卒業と同時に日本麦酒の前身、大日本麦酒に入り、現在に至っている。

今回緑丘会大阪支部の副支部長として何時も緑丘会発展のため格別の御心労を戴いている。石田さんを一言で評すと「大胆、豪快にして細心」といえよう。一見親分肌であるともなかなかな繊密な頭脳の持主であり几帳面な性格である。北海道という風雪のなかで学生生活を送ったことは、人間形成にプラスになった。と石田さんはいわれるが、私も同感である。石田さんが御息たちを、はるか北海道の大学で勉強させ

私は

藤目 英三 昭和十一年卒 塩野義製薬(株)資料室長 緑丘会大阪支部幹事長



(訂正) 森本秀男氏は昭一二の誤りにつき訂正します。

冷暖房及び管工事全般設計監督施工

日邦工業株式会社

取締役社長 井 薬 政 市 相談役監査役 宮 地 邦 介 (大11)

大阪市西区南堀江通1丁目2番地 電話大阪(06)2290 2159・5616 2794番 工場 大阪市大正区南御加島町二丁目二七二番地 出張所 横浜市鶴見区東寺町七二五番地 電話 鶴見(045) 2303番

から徳山営業所へ (徳山市栄町一四〇) 剣物資郎(昭三〇) 高千穂交易株式会社東京支店から名古屋支店長に 大根一夫(昭一七) 日本生命本社内務教育部勤務から同社明石支社長に(明石市人丸町二九五) 平木勇三(昭一三) 帝人東京販売部から帝國化染株式会社へ(京都市南区吉祥院新田下ノ向町一) 井上克己(昭一一) 住宅金融公庫名古屋支所から東京都南関東支所次長に 東京都文京区小石川町二丁目一番地 児玉廉平(昭八) 五島育英会総務部長に 東京都渋谷区南平台町一一 太田正幸(昭一六後) 三菱鉱業(株)小樽営業所々長に 小樽市小樽築港駅構内 矢島実(昭三三) 三陽商事株式会社大阪支店から岐阜本社へ(岐阜市雲井町三ノ一) 梅野卓男(昭三五) 日本毛織加古川工場から日本毛織(株)特殊布部営業課へ(大阪市東区淡路町四丁目六一) 大島三郎(昭一〇) 三井銀行堂島支店長から大阪西支店長に

転居

太田英治(昭二) 東京都大田区田園調布四丁目一四番地の八 電話(21)二八五四

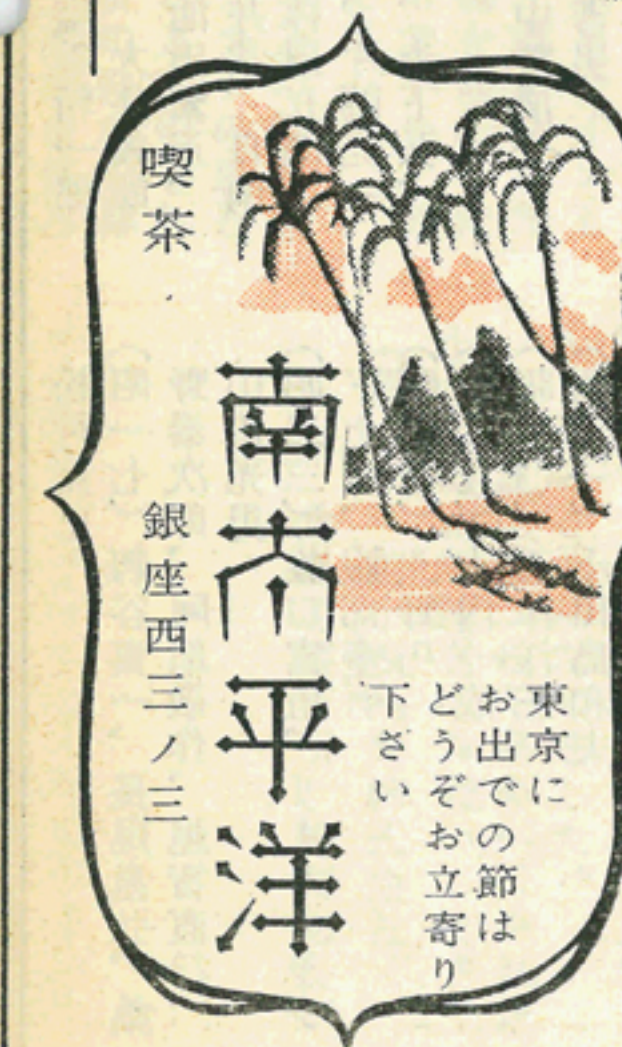
矢野正郎(昭一二) 東京都北多摩郡東村山町回田二一五四 電話(9)二〇三八 (勤務先) 東京都港区芝公園二五号地 宝塚女子旅行会館 中村平之助(昭一六後) 高槻市大字西天川五〇ノ三七 (阪急不動産本町住宅) 平木勇三(昭一三) 神戸市東灘区本山町岡本字中島二三〇 河西辰男(昭一四) 枚方市茄子作一八五六ノ九 東香里住宅地六ノ五 角谷栄作(昭一一) 千葉県船橋市小栗原町五丁目三〇 三番地 電話市川(2)六〇三八 福田勇一郎(大一一) 神奈川県藤沢市辻堂太平台五一八六 電話藤沢(6)四四六九 大阪市西区北堀江通五丁目原田ビル 電話(5)五五五五 (豊中から右二カ所に住居を定めました) 井上克己(昭一一) 東京都新宿区西落合二ノ五三八 住宅公庫 代田宿舎 木下春雄(昭一一) 所沢市上安松一ノ二二三 国安猛司(昭一一) 旭川市宮下通五丁目国鉄アパート 一ノ一〇三 風 敏夫(昭一一) 宝塚市川西字鶴之荘八四 事務所移転 池川トシロウ(昭三一) 大阪市北区兎我野六七の一梅田グリーンビル二階へ(中央広告通信株式会社大阪支社)

海外旅行の自由化が近づきました! どうぞ旅行の御相談を!



海外・国内航空券 海外旅行 国内旅行 外人旅行

IATA 公認代理店、日本航空、全日空、外各社代理店



太平洋観光株式会社

本社 東京都千代田区丸の内2の18 岸本ビル Tel. (281) 0462・0463・4062・4063・9864・9865 銀座 東京都中央区銀座西3-3 銀座ビル Tel. (535) 2874・2875・4812 大阪 大阪市南区大宝寺町仲之町52 大仲ビル Tel. (271) 4166・8044 札幌 札幌市北二条西三丁目一 越山ビル Tel. (4) 7913・0181の内線7071



# 緑丘大正12年会

## 卒業40周年大会

3月22日 熱海・水明荘で



大正九年春三月、当時令名噴々たる渡辺校長初め伴、武田、大西、国松、高島、手塚、浜林等々の名教授を擁する名門小樽高商を慕って全国より馳せ参ずる受験者三千余名、見事この難関を突破して首尾よく入学の栄冠をかち得たもの一八〇余名、幾多の試練と話題を残して大正十二年第十回卒業生として社会に巣立つてから早や四十年、齢すでに選歴、今なお社長、副社長、専務として、

あるいは校長として第一線に活躍する者、定年退職して悠々自適する者等々生き残り組(語弊があるかな)一二〇余名、勇退半ばにしてあるいは半ばを過ぎたとしても、今日幽明境を異にする者五十三名に達する。それ等の生き残り組で卒業四十周年記念大会を催した。

所は熱海市伊豆山温泉水明荘、時は昭和三十八年三月二十二日、午後五時開会、会する者、北は北海道より南は下関より(九州なし)左記三十八名に達した。

秋山夫妻、穴釜、鎌田(隆)、喜多村、江口、堀川、船津、池田、石川(一)、石川(松)、加地夫妻、近藤、小山、鞍掛、永田、野又、能代、小沼、大久保、太田(利)、大竹、讃岐、田上、高橋(熊)、高橋(徳)、高坂、武林、竹田、玉井、田中(実)、田中(繁)、田中(弥三)夫妻、立野若林夫妻

以上

五十畳敷きの大広間に爺さん連中(婆さんも混って)がズラリと並んだ所は壯観であった。床の間に物故者の名を列ね、座ったまま一同黙禱して物故会員の冥福を祈ってから開会の辞。

幹事の挨拶に曰く「五年間に稀少価値が上ったにも拘わらず前回(三

十三年五月十日湯ヶ原翠明館にて開催出席者三十名)に比べ出席者が八名も殖えたことは大成功で結構なことに相違ありませんが、その裏には一抹の寂しさもあるといえまじょう」云々、今回は遠いところから珍らしい顔の出席者も多く四十年ぶりの再会に誰だあったかと首をかしげる場面もあった。

しかしやがて飲む程に酔う程に親しみは四十年の昔に蘇りお前、俺に帰って果ては相擁して涙する始末。それをまたパチリパチリと写して行く物好きも現われる。酒間を幹旋する美妓(?)十余名、彼女ら専門家の舞踊が終わると幹事指名の余興が次々に展開されたが、それだけでは満足せず美妓を引きつけて洩い喉を聞かすものもあつたが、その頃は座はすでに乱れておのおの勝手に懐旧談に花を咲かせて聞く者はなく御本人だけが独り悦に入っていた。幹事の気軽で何時の間にかやら芸者は座になく、足元もヨロヨロと最後の一人が己が部屋に引き取って行ったのは夜もすでに更けるころおいであった。

翌朝は八時半集会、朝食の座に介をかねて近況報告をやれとの提案あり、一人づつ立って弁舌を振うことになったが、この企ては大成功で有意義かつ興味深々たるものがあつ

限定版

# 「伴房次郎先生の書翰と追憶」

## 原稿整理に入る

「伴先生の書翰と追憶」も葉書から原稿用紙のコマを埋めるのに二カ月かかって今日に至った。幸にして同期の小池輝男君が応援の手を差しのべてくれたからで、もう少しで整理がつきそうである。

板垣与一先生(二橋大学)や京都の寺田弥一郎氏(大正一〇)の長編の激励分をいただきながら満足な回答のできぬのを誠に残念に思っている次第であり、加茂学長よりは完遂せよと冷汗のかくような応援の御言葉をいただいた。全く苦しく、あと一息という所である。広島大学の中野清一先生(大正一五)は七草湯や卵黄油等の漢方薬で視力の衰えつつあるのを支えて下され、その上ゴマの常食をすすめて下さるなどこんな幸せなことはないと感じています。

書翰、葉書の不足は止むを得ぬこととしても一冊の本としての体裁を整える意味からも憶い出の記を御願いに上りたいと思います。

その節はどうぞ御協力の程を御願います。

「伴房次郎先生の書翰と追憶」申込追加

(氏名) (部数)

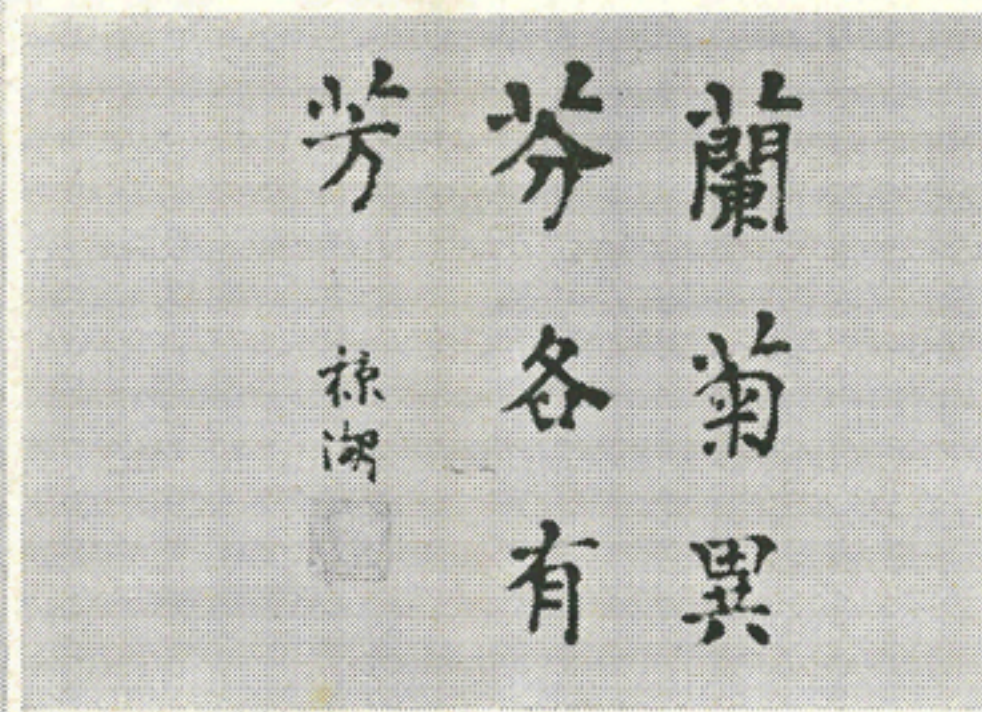
藤原武次(小樽) 一冊

野又貞夫(函館) 追加 九冊

合計二一〇冊

# 蘭菊異芬

西田英夫(大正一五)



これを先生からお送りいただいたのは昭和三十一年四月末です。ですから先生お逝くなり一、二年前かと存じます。私が先生に特に蘭菊異芬

の字句をお願いした理由は、私達の卒業式(大正十五年)に伴校長が饒舌の言葉として下されたものであり記念アルバムにも巻頭に掲げられたものですが、戦災で全部焼失してしまいました。たまたま十五日会(東京在住大正十五年卒業生)で先生にお目にかかった際、事情を話してお願いしたわけです。

余談ですが先生は旧四校(石川県)出身で富山にもなじみ深く、薄氷(富山県石動町銘菓)をお届けした折など昔のままの風味をいたく喜ばれました。柿がお好きで田園調布のお宅の庭にも数本の柿の木があり毎年でき栄えを楽しみにしているとのことでした。富山の水島柿もよく御存知だったのでお送りする積りでいましたが、その前にお逝くなりになり今だに残念に思っています。

お祈り南無阿彌陀佛... 蘭菊異芬 各有所長

西田英夫

伴房次郎



# 全員が幹事の苦勞を

## 身を感じつゝ



### 温泉島天辨

#### 浜名湖

#### 觀光

#### ホテルに

#### 集る

緑士会 (大正十一年)

私も大正十一年に小樽を卒業した同窓で作っている会はすでに古い歴史を持ち、卒業以来継続しておりますが、これが緑士会です。会名は緑丘を大正十一年に卒業した者の会という意味で従来は五年毎に開催しておりましたが、昨年春は伊豆の湯ヶ原で卒業四十周年の記念会合をやりました。かつ亡友の霊をなぐさめ合つた

次第です。大変盛会でした。処がその後生い先も短かいせいかな昨秋はもう一度集会をやりました。井上君の御世話で志摩巡りをして大いに晩秋の南勢を楽しみました。その時の発案で本年は東西の中間である浜名湖で会合しようとする事になりました。四月十日、十一日に東西から十六名の会員を迎えて、この浜名湖集会を催すことになった次第です。処は浜名湖弁天島の浜名湖ホテルです。静岡県は私も緑士会の幹事長杉山君の出生地で、今度も大変意気込んでおられました。会社ストのため、突然欠席、同じストのため小関君も急に欠席しましたので、静岡在住の大石君とこの弁天島に棲む功力とが幹事役を引受けた次第です。

#### 東京方面

太田省三、国弘勲之亮、中田新平、中瀬秀一、西村正一、上杉弥一、佐藤精二。

#### 大阪方面

宮地邦介、四谷宗義、竹村蔚、大泉行雄、井上巖、神沢重治、梶川亨司。

#### 静岡地区

大石莊太郎、功刀素重。東西の列車が同時に着く午後五時

十三分、みんな元気な顔で浜松で下車。そこから自動車で弁天島へ到着され早速温泉で一汗流して七時から宴会が始まりました。大石、功刀、太田、国弘君などの何時もながらの余興が始まり、弁天島の芸妓さんの唄や踊りで宴はたけなわ、午後七時から十時頃まで大いに浩然の気を養いました。翌十一日は実に天気快晴で一点の雲もない遠州路でした。四台の自動車に分乗して浜名湖めぐりを致しました。途中本興寺の桜、瀬戸の吊橋、観音寺の春景等を巡視して浜松へ出て浜松城を見学して米久旅館で昼食のうなぎに遠州路の旅を満喫しました。大変愉快な会合でした。今度は秋に京都へ集まろうと議決され大阪方面で幹事を引受けることに決まりました。皆様御達者でまた是非お元気の御顔を拝見しましょう。

(功刀記)

(写真) (前列左から) 西村、国弘、宮地、太田、中瀬、四谷、井上、(中列) 功刀、大泉、神沢、梶川、大石、上杉 (後列) 功刀夫人、梶川夫人、中田、竹村、佐藤



た。孫が九人あるぞと自慢するのがある、何だたつた九人か俺は十一人あるぞというのが現われる有様、そこで次回はこんなスピーチをテープコーダーに録音して保存することにしようかと決議した。お膳を前にしたままスピーチは続行し最後の一人が終った時はすでに十一時を過ぎていた。名残りは尽くることなかったが、会の終了に当り、お互の平均寿命を七十五才としてもあと三回しか大会をやれないことになるから、これを早めて貰いたいとの提案がなされ、次の大会は四十三年目、その次は四十五年目に開催することに決議した。また夫妻の出席をもっと多くし

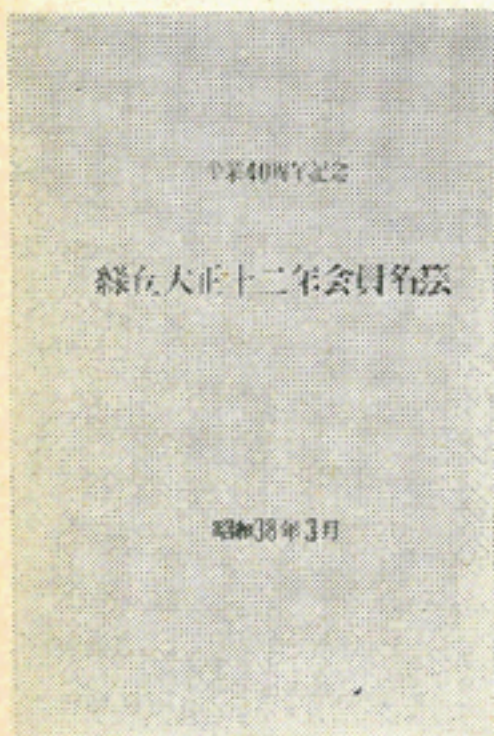
次回は全員カッパルでとの意見も出てこれも一同大賛成の拍手で答えた。朝飯が昼飯になつても皆んな喜色満面再会を約しつつ散会した。(緑丘十二年大会幹事堀川源作記)

### 卒業四〇周年を 記念して

#### 緑丘大正十二年 会員名簿を完成

名簿を作るという事は大変な事業である。余程の熱心な方がなければ到底できるものではない。この会誌「緑丘」でも同じことがいえる。

今回幹事石川一君(東京ステーションホテル常務取締役)がわれわれの会員名簿をこの機会に作成してくれたことはただただ感謝の他はない。



### 昭八の全国同期へ呼びかけ 卒業三〇周年記念クラス会

六月一六日一七日の予定  
在京、昭八会の世話人横山(秀)名雲、宇尾、能沢、八木、小池、児玉の七人の連名で全国の級友へ三〇周年記念祭の呼びかけを行った。  
(日時) 昭和三八年六月一六日一七日  
(場所) 熱海市海岸通ホテル

こううや  
(金子喜義君の奥様の実家、サービスマン)と註記あり。  
(会費) 三、〇〇〇円(家族同伴は一名につき二、〇〇〇円増)

昭九、昭一〇のために  
昭八が三〇周年を催す事となった。昭九は来年である。昭一〇は去来年で各々覚悟? 計画を練っている事であろう。各幹事は早目に名簿を整備する必要がある。次号緑丘の紙面をかりて具体的な報告をした。

### 大正七年卒は 四十五周年記念を

三月十六、七日湯ヶ原で同期生の全国大会を開催、九十四年振りです。楽しい会合をもちました。  
白瀬治三郎

耐酸 耐蝕 滲鉛加工 鉛工事一般

## 日本滲鉛工業株式会社

社長 大久保 鹿 式 (大正12年卒)  
大阪市東淀川区木川西ノ町六丁目五  
電話 三国 (392) 1 1 5 1 (代表)



御中元には  
緑丘人の家庭に  
夢を贈る  
**世界の味**



料理罐詰



全国デパート  
有名食料品店  
にごさいます

五缶入 ¥700 八缶入 ¥1,000 十二缶入 ¥1,500

料理罐詰

- ロシア風 ボルシチ
- イタリア風 ミートソース
- ハンガリー風 ビーフシチュー
- 印度風 ビーフカレー
- 英国風 トマトスープ
- アメリカ風 コーンスープ
- オランダ風 いちごジャム
- ポルトガル風 ママレード

ひとこと

家庭に居ながらにして、「舌の世界漫遊」をしようというのが、これの狙いです。このメーカーの水垣さん(MCC食品株式会社)は舌の達人で世界各国味の行脚をしてその結果の所産です。とも角食べてごらん下さい、きっとマニヤになります。

川島 四郎  
農博(栄養と食糧の研究者)

エム・シー・シー食品株式会社

神戸市長田区荻藻通5丁目15 TEL代(67)1245

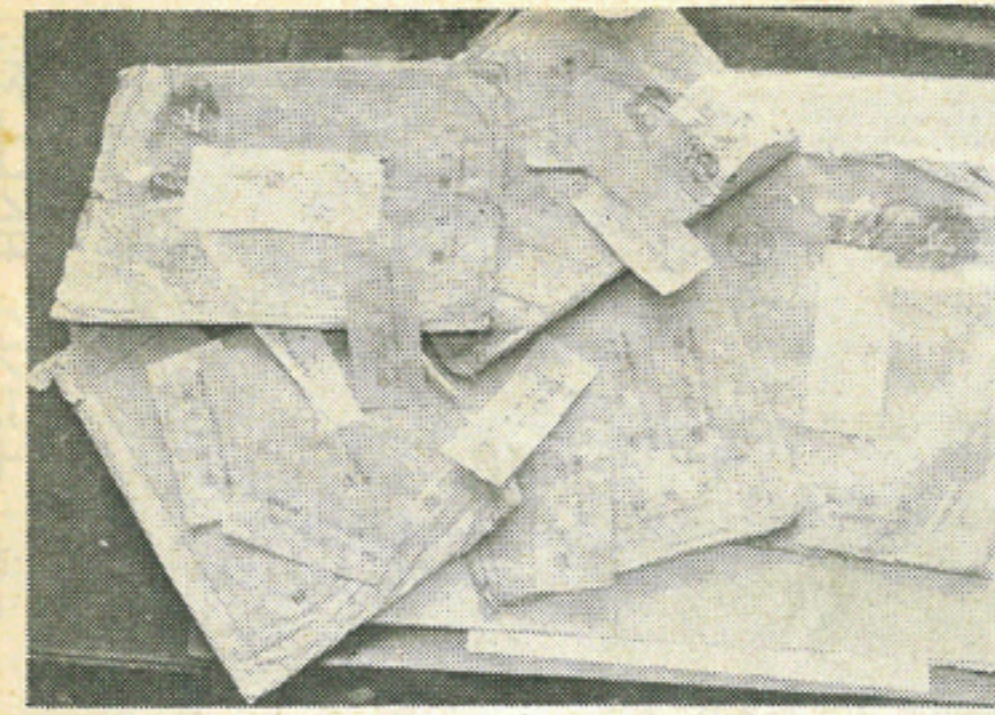
取締役社長 水垣敏正(昭5)

住所変更の  
通知もなし  
無籍緑丘人!!

住所変更の通知のない緑丘人がいかに多いことか、ただただあきれられるばかりである。この事実が学校同窓会本部にも責任がある。大正十二年卒の名簿が完備したこと。大正十二年卒が「消息」を送って正しい名簿を備えていることは同窓会本部も真似るべきである。

同窓会々費徴集と相まって名簿の新しいものを会員に毎月速報として配布すべきであり、本部の事業計画の中に第一に取り上げべき緊急事と思う。

ささやかな資金で発送した「緑丘」が見るも無残な姿で発送後三日



戻って来た緑丘

にして十通内外の返品が一週間も続けられては泣くに泣けない悲劇を演ずる犠牲者の一人がここにも居ることを知っていただきたい。

同窓会名簿が正しいものとして送ってかくの如き次第である。

編集後記

☆三十八年度第一号を御届けしました。通巻三十一号になりました。沢山の方々から続々と御申込みをいただきまして有難うございます。又御多忙の中からのたえ一句でも労を稿う御言葉をいただきまして、まだお会いした事のない方々のお顔が見えて来るようでございます。ますますよい「緑丘」を何時までも続けて行きたい気持ち一杯でございます。

☆四月二十一日は東京、二十二日は大阪、二十二日は京都、二十四日は名古屋と各支部の総会月でございます。小樽でも札幌でも相前後して開催される事と存じますが早めに原稿を写真と共に送らせて下さい。

☆「読者の声」の欄が出来ました。どしどし御投稿下さい。次号には「支部会費徴集について」「徴集するとすれば誰れが集めるか」大いに皆様の御意見を紙上で闘わせ度いものです。各支部長も支部発展のために御投稿下さい。メ切六月十五日希望により匿名で発表しますが氏名年次は必ず御記入下さい。

KYC

- KYC ベルトコンベヤー各種
- KYC コンクリート・ミキサー各種
- KYC スラッター・コンベヤー各種
- KYC モーター・プーリー各種
- KYC ポンプ各種
- KYC バッチャープラント各種

光洋機械工業株式会社

取締役社長 奥村正美(昭17年)

本社	大阪市北区南同心町一丁目二番地	電話大阪(351)3091~5(代表)
大阪支店	大阪市北区南同心町一丁目二番地	電話大阪(351)3091~5・8291~5
東京支店	東京都千代田区神田小川町二丁目三番地	電話東京(291)1216・1309
九州営業所	福岡市中浜口町一九番地	電話福岡(3)1841・2421
名古屋出張所	名古屋市東区堅代官町一四番地	電話名古屋(94)1315
仙台出張所	仙台市北材木町三九番地	電話仙台(22)5247
札幌出張所	札幌市南十一条西八丁目五四一の二番地	電話札幌(5)9868
工場	寝屋川・守口・吹田・東京所沢	